

木馬会会報 (第36号)

＊天皇賞・秋特集＊



1995/10/27

～木馬達の予想～

本誌 TP

インペラートルは骨折で残念です。“四国の井崎”さんから送られてきたききょうSのビデオを見ました。4角先頭でさあこれからというところで急に伸びなくなりました。あれは完全に骨折の影響でしょう。それさえなければ勝つ目もあったと思います。とにかく半年じっくり立て直して、20ヶ月ぐらい増えて戻ってきて欲しいです。ききょうSのビデオ見て前号の言葉を撤回します。1500万条件ではなく、オープンまではいけるでしょう。

天皇賞・秋

◎…ナリタブライアン ○…スガノオージ ▲…ゴーゴーゼット

△…サクラチトセオー、アイリッシュダンス、マチカネタンホイザ、ホクトベガ
～予想者の屁理屈～

今年の天皇賞秋の焦点は、史上最強馬ナリタブライアンとの参戦と、逃げ馬不在、詰めの甘い馬の大挙参戦。普通ならヤエノムサシの勝った平成2年のようなレースになると思われるが、名手岡部と武の騎乗馬がジェニユインとアイリッシュダンスでは騎手の腕で決まるものではない。京王杯AIIで天皇賞の本命はジェニユインと書いてしまったが、あっさり取り消そう。今年の4歳牡馬は弱い。フジキセキ以外団子だったのだ。毎日王冠でそれに気付いた。来年はまだしも、今年は絶対に要らない。切れ味もなく、だいたい道悪では？と言っている馬にGIを取る資格はない。毎年牝馬は要らないレースだが、前走女帝ヒシアマゾンと接戦を演じ、武騎乗で2番人気が予想されるアイリッシュダンスは、女帝と首差の2着であるところがいただけない。女帝はどんな僅かな差でも勝つから女帝なのであり、勝つと負けるは大違い。それはチョウカイキャロルを見ればわかる。ヒシアマゾン様出れば勝てるが、ただ強い牝馬ではだめだ。ダイナアクトレスの域にも達していないはず。それなら混戦でホクトベガという手の方が可能性はある。チトセオーはやはり2000m以上のGIを勝つ馬ではなく、臨戦過程や実力から軸の一番人気になれても詰めの甘さは否定できない。穴人気になるタンホイザ。高松宮杯での勝ちっぷりが鮮やかだったが、実は終いの3Fは36.8。それまでもともとGIでは足りなかった馬であることを忘れてはいけない。しかも今回は休み明け。と、いうように軸にできる馬がいないのでしょうがない。そんなこんなで本命はナリタブライアンになったということ。対抗のスガノオージは予想以上に力をつけているだろうということと、展開も向きそうなことで取り上げた。プレク拉斯ニーやネーハイシーザー的なところがある。ゴーゴーゼットも府中向きの末脚でというところだが、展開がわからないかなあ。

ナリタブライアン本命にしたのは、来たるべくヒシアマゾンとの頂上対決(JC、有馬記念)に完調で出てきて欲しいという願いがあるからだ。もちろん、8月下旬からじっくり調整してきたことと、南井が怪我をした次の15日に早くも武に天皇賞、JC、有馬記念の騎乗を依頼していたという裏情報から、その時点でかなり仕上がっていたはずとみて

いることもあるが、それより先につながるレースをして欲しい。だいたい私が休み明けを本命にするのは買えないレースということ。GIでなきゃ買わないよ。

やはり好調期間は中山開催で終わり。しばらく休んだので、今週ではずみを付けたいところ。現在の回収率84.8%

予想“へな”ってゴメンネ

天皇賞(秋)

◎…サクラチトセオー

△…マイシンザン

○…マチカネタンホイザ

△…スガノオージ

▲…アイリッシュダンス

△…ステージチャンプ

…“へな”の理屈…

どうやら天気の方も心配いらなくらく(?)良馬場でレースが行われそうなので非常にうれしい。

本命は毎日王冠の時から決めていたサクラチトセオー。別に小島太が引退するから本命にしようと思ったわけではなく、ブライアン以外では明らかに能力上位である。確かにこの馬にとって1600～1800位がベストであるとは思いますが、叩き2戦目での状態UPと直線の長い府中ならば心配はいらない。人気になるが(2番人気)本命はこの馬しかいない。

対抗は善臣マチカネタンホイザ。ノーザンテースト産駒は2、3度変わるとよく言われるが今のこの馬の充実ぶりには驚かされる。去年の天皇賞でこの馬に◎をうち、結果惜しくも4着だったが、今年こそは期待に答えて連絡みしてくるにちがいない。

無気味なのが武に絶好調のアイリッシュダンス。牝馬だから割り引いてなどど考えるのはナンセンスであって、強い馬に重い印をうつという基本から▲をこの馬にうつ。2000がベストで今がピークとなれば本当に怖い。先週の武の騎乗振りをみたら本命にしても…という気にもなる。

押さえは爆発力のあるマイシンザンと良馬場でも力の要る今の府中にピッタリな好調スガノオージとステージチャンプでいいか。

トウインクルダンディの予想

天皇賞(秋)

◎アイリッシュダンス ○スガノオージ ▲ホクトベガ

△マチカネタンホイザ △サクラチトセオー △ナリタブライアン

牝馬不振のデータは気になるところだが、あえて本命にはアイリッシュダンス。天皇賞を最大の目標にしてきた馬だけに、目下絶好調のようだし、先行してもよし、追込んでもよしの展開を問わないタイプ、そして世界の武豊騎乗。GI制覇に今回最も近い存在とみた。対抗にはあえてスガノオージ。前走がフロック視されがちだが、重馬場を逃げて上が



り35秒1の二の足を使うあたりは完全に本格化したとみたい。今回もペースはそれほど速くなりそうもなく、この馬に向く展開になりそうなのも魅力。もう1頭気になるのがホクトベガ。やはり牝馬だが、関東リーディング横山との相性は抜群で、東京コースで連に絡んだことはなくとも、常に小差で掲示板の常連。前二走も着順は悪いが1着馬との差はそれほどなく、前走の上がりもジェニユイン、マイシンザンらを上回りチトセオーと同じ35秒2。軽視されがちな今回は、配当的にも絶好の狙い目。左回り走るマチカネもアイリッシュを捨てた柴田で脅威。チトセオーは、展開が今回も向きそうになく、また引退が決った小島の気合も空回りしそうで狙いを下げる。問題はブライアンだが、私のポリシー（長期休養明けは本命にしない）から評価は低い、勝たれたら素直に拍手だ。

予想者 覆面デスラー

天皇賞（秋）

ナリタブライアンがなんとか間にあって、天皇賞（秋）もようやくG1らしくなってきた。穴になりそうなウマが除外対象ばかりで『用無し』のウマは遠慮したいものである。オマエのことだよ！サマニベッピン、ポジー、ハシルナショウゲン。そこでまず（除外対象であるが）ゴーゴーゼットを狙いたい。春のG1では金杯から半年にわたるハードなローテーションで本来の力が発揮できなかったのが敗因。筆者もその実力は認めた上で春のG1は使い詰めを理由にこのウマを切ってきた。それでも天皇賞（春）、宝塚記念では勝ち馬とわずか数馬身差と健闘している。夏休養に充て叩き2走目の今回は間違いなく追い込んでくることうけあい。初めての東京コースが懸念されるが、むしろ脚質的には歓迎材料だ。

相手筆頭は左利きマチカネタンホイザ。ローテーション的には異質だが、G1を取らせるために大事に使ってきた厩舎の心遣いこそ好感が持てる。最強といわれた同世代のミホノブルボン、ライスシャワー、セキテイリュウオーらがあと一步で及ばなかった栄冠を是非獲って欲しいものだ。前走凡走し人気下がるのも、配当的にも魅力。本線はこの2頭。抑さえに、最後の天皇笑か！小島太ことサクラチトセオー、長期休み明けでも展開向きそうなナリタブライアン、人気薄の牝馬ホクトベガ、2匹目のどぜすを狙うスガノオージ、実は中距離走者アイルトンシンボリ。

いずれにしても大混戦になるうが、後味の悪かった宝塚記念のライスシャワーのような悲劇だけはくれぐれもないことを祈る。

- ◎ゴーゴーゼット
- マチカネタンホイザ
- ▲サクラチトセオー
- 注ナリタブライアン
- △ホクトベガ
- △スガノオージ
- △アイルトンシンボリ

予走者 四国の井崎

先週は土曜日に府中へ行ってきました。仮柵をとって内側の芝の状態が非常に良い状態でした。そして岡部が4勝し、小生は南部特別のファッションショーの単複連で稼がせてもらいました。日曜日は武が5勝と、騎手の腕というのをまざまざと見せつけられた先週でした。そういう意味で今週の天皇賞の主役のナリタブライアンの騎手が的場に決まって良かったと思っています。

天皇賞

- AA ◎ナリタブライアン
- A ○アイルトンシンボリ ▲ジェニユイン △サクラチトセオー △マイシンザン
- B △マチカネタンホイザ △ゴーゴーゼット

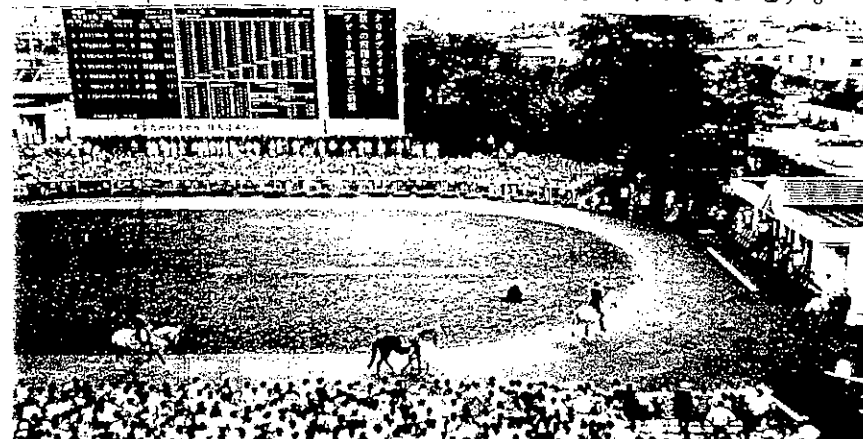
私は今夏8月26日、函館競馬場でナリタブライアンの馬場披露式を見てきました。全くため感がなく、落ち着いてファンの心ないフラッシュにも動じず、それはもう王者の風格を示したものでした。いったいどこが悪いのかわからない気がしたものです。その時の写真も紹介しておきます。

調教はもともと良くない馬で、ウッドで65秒なら上々、去年の兄の雪辱を見事晴らしてくれるでしょう。単勝180円、複勝130円以上はついてくれると思います。

南井騎手が乗れないのが残念ですが、的場騎手ならO.K.。松永幹騎手はイマイチと思っているのでマイシンザンの出走ともども喜んでる次第です（マイシンザンには朝日CCの熊沢君が乗ってくればいいのになあ）。

さて相手ですが500万クラスの時計マイナス2.5秒をベースにそれを上回った時計の馬をピックアップしたのが上記7頭。これ以外の勝馬は考えにくい（ただし良馬場条件）。

サクラは小島の引退、マイシンザンは滑り込みセーフ出走で人気になりそうなので評価を下げ、同等の力を持っているアイルトンシンボリ、ジェニユインを上に見てみました。木馬会の予想は◎から6頭へ流すこととしますが、プライベートではA評価の5頭のBOX10点を遊んでみます。2枠は死枠だよーん（去年ビワが入ってこけている）。



ナリタブライアン
秋への飛躍を期し
デビュー地函館で披露

